

小中高連携教育を通しての生きる力の育成

下関市立豊北中学校PTA

PTA名称	豊北中学校PTA	
所在地	下関市豊北町大字滝部 1244 番地 36	
学校地域の概要・組織	<p>【地域の概要】 下関市豊北町は、本州の最西端に位置し、東西 15 キロメートル、南北 17 キロメートルのひし形の本土部分と、海上約 2 キロメートル沖に浮かぶ角島から構成されています。北は日本海、西は響灘に面し、東は標高 668 メートルの白滝山、南は標高 616.3 メートルの狗留孫山を町境としています。農林・漁業を主産業とし、青い海や白い砂浜、緑の山々など豊かな自然に恵まれており、また、全国的にも貴重な国指定史跡「土井ヶ浜遺跡」がある地域となります。</p> <p>【学校の概要】 下関市立豊北中学校は、2006 年に豊北町の 4 つの中学校（下関市立豊北第一中学校、下関市立豊北第二中学校、下関市立豊北第三中学校、下関市立角島中学校）の統合により開校しました。「生涯学習の拠点としての中学校」、「教科教室型運営の中学校」、「産業学習の場としての中学校」、「地域環境と共生するエコスクールとしての中学校」、「IT 教育を推進する中学校」の 5 つの基本コンセプトを持ち、学校運営を行っています。</p> <p>【PTA組織】 会員数：104人</p> <p>下関市立豊北中学校のPTA会員（学校生徒の保護者）の中から会長1名、副会長1名、各学年6名の学年委員が選出され、学年委員は専門部（保体環境部・文教厚生部・広報部）のいずれか1つの部に所属します。それに書記、会計、顧問及び教職員を含め役員会が組織され、学校と家庭が連携し地域とともに生徒の人格形成を目指し教育の充実を図るため、各種PTAの事業を実施し、活動しています。</p>	

下関市豊北町内には小学校、中学校とも1校しか存在しないため、令和2年度から9年間を通しての一体的な教育に本格的に力を入れており、以下のグラウンドデザインを示し取り組んでいます。

令和6年度 下関市立豊北小学校・豊北中学校 グラウンドデザイン

山口県の教育目標
未来を拓くたくましい
「やまぐちっ子」の育成

豊北地区めざす子ども像
「笑顔と学び 未来を語る豊北の子」
笑顔 … 優しさ、素直さ、思いやり、自他の尊重
学び … 学力の向上、主体性、積極性、粘り強さ
未来 … 希望、ふるさと、志、挑戦、探究心

下関市教育理念
夢への挑戦
生き抜く力
胸に誇りと志
～学びが好きな子ども
学びの街・下関～

豊北小学校・豊北中学校の学校教育目標

じりつ ・ きょうせい

- **じりつ** … 自立 (自分自身を高めていこうとする姿)
… 自律 (自ら考え、正しく判断し、行動しようとする姿)
- **きょうせい** … 共生 (互いの存在を認め合い、大切にしていこうとする姿)
… 共成 (互いに学び合い、共に向上していこうとする姿)

学校運営方針

《 小中連携指標 》

	【自立】	【自律】	【共生】	【共成】
	自分自身を高めていこうとする姿	自ら考え、正しく判断し、行動しようとする姿	互いの存在を認め合い、大切にしていこうとする姿	互いに学び合い、共に向上していこうとする姿
後期中2 中3	高い志をもち、将来に向かって挑戦し続ける	自分から明るいあいさつができる きまりを守る	ふるさと豊北に愛着や誇りをもって生活し、地域に役立とうとする	主体的・計画的に学習に取り組む 他者との対話を通して考えを深め表現する
中期中小5 中1	困難な事にも積極的に取り組む	掃除やボランティア活動に意欲的に取り組む	ふるさと豊北のよさに気づき、感謝の気持ちをもつ	主体的に学習に取り組む 他者との対話を通して考えや思いを再構築する
前期中小1 小4	自分ができることに積極的に取り組む	時と場に応じた言動ができる	家族や近くに住む人に思いやりのある言動ができる	意欲的に学習に取り組む 友達との対話を通して、友達の意見を尊重し、考えを広げる

《重点取組事項》

- (1) 体系的・計画的なキャリア教育（志を育てる教育）の充実
- (2) 主体的に学ぶ態度の育成と確かな学力の向上
- (3) 学校生活に喜びと充実感もてる、積極的な生徒指導の推進
- (4) 家庭・地域との連携を基盤とする、地域とともにある学校づくりの推進

豊北小学校・豊北中学校で共通して実践する取組

心	学力	体力・健康
<ul style="list-style-type: none"> ●道徳教育の充実（心を耕す） ●あいさつ、時間厳守、掃除の励行 ●ボランティア活動の推進 ●互いの存在感・有用感を体感できる児童・生徒主体の場づくり ●郷土愛（シビックプライド）の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎・基本の定着 ●言語能力の向上 ●読書の推進 ●特別支援教育の充実 ●望ましい学習習慣の確立 ●家庭学習の充実 ●ICT活用能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●早寝・早起き・朝ごはん ●メディアコントロール ●基礎体力づくりの推進 ●心の健康増進（教育相談の活用、スクールカウンセラーとの協働） ●豊北地区生涯スポーツの推進（部活動の地域移行等）

つながり

- 幼保・小・中・高の連携の推進
- 地域とつながる活動の推進（コミュニティ・スクール）
- 体験活動の充実
- 情報発信

豊北小・中学校 学校運営協議会

<p>研究テーマ</p>	<p>本校は、過疎地である下関市豊北町に位置し、豊北町で唯一の中学校となっています。また、豊北小学校も同様であり、地域で唯一の小学校となっています。人口減少（5年前約9,000人→現在約7,500人）及び少子高齢化（高齢化率58%）が著しい豊北町では、下関市の進める市立小・中学校の適正規模・適正配置の取組においても小中一貫校の対象に挙げられています。また、地域に唯一存在する下関北高等学校も定員割れが続いており、地域としての魅力が求められる状況となっています。</p> <p>その中、学校運営協議会主催で小中高合同熟議を児童・生徒代表を中心に開催し、地域を活性化するための方策についてのグループ討議を行い、美しい町や楽しい町にするための意見・提案等が出てきています。ただ、活動の実現には費用の捻出が必要であり、アイディアのまま終わっている提案もあります。</p> <p>この児童・生徒の想いを形にすることを豊北中学校PTAが中心となり実現し、豊北小学校PTAや下関北高等学校PTA等を巻き込み、タテのつながりの強化を図り、子供たちだけでなく保護者間の連携を強化することで、地域一体となった小中高連携教育を進めたいと考え、今回、計画しました。</p>
<p>成果と課題</p>	<p>【成果】</p> <p>8月5日（月）に豊北小・中学校 学校運営協議会と下関北高等学校 学校運営協議会が主催で開催した熟議にて、豊北小学校の児童と豊北中学校・下関北高等学校の生徒及びPTA等の代表が参加し、児童及び生徒が美しい町の実現に向けて提案した地域合同清掃の実施方法等をワークショップ形式にて協議しました。協議の結果、11月19日（火）に豊北町内の7地域に別れての開催が決定し、清掃に必要な用具や地域との交流時間の過ごし方を高校生が中心になりアイディア出しを行い、学校及びPTA等関係者が助言する形で開催まで随時調整を行いました。その結果、11月19日（火）に小中高合同清掃活動と言う形で、豊北町内の7地域に別れて無事に開催することができ、保護者及び地域の人などが各地域の清掃活動に参加し交流を図ることができました。</p> <p>また、過去の熟議で楽しい町の取組として提案のあった駅伝大会の開催について、豊北中学校PTAが中心となり、豊北小学校PTAと連携し、8月と9月に2度の開催に向けての打ち合わせを行い、11月30日（土）に豊北小中合同親子駅伝大会として、豊北総合運動公園にて児童・生徒及び保護者・先生を含めて85人が参加し、無事開催することができ、交流を図ることができました。</p>

【課題と分析】

合同清掃活動については、1月7日（火）の熟議にて振り返りを行い、交流を図る点では有益なものであり、今後も開催を継続する意見で一致しました。ただし、開催時期が冬場であり、地域で行う別の清掃活動と重なる問題点や開催時期を豊北町の観光シーズン前の初夏にする提案など活発な意見交換が児童及び生徒の間で行われました。

また、合同駅伝大会については、当初計画では下関北高等学校も巻き込む形で調整していましたが、開催日の調整が甘く、高校の試験週間と重なり、合同での開催が実現できませんでした。高校側の駅伝参加に対する反応も悪くなかったため、スケジュールの把握不足が悔やまれる点でした。今後も継続して実現するためのポイントとして、豊北小学校 PTA 及び中学校 PTA の保体環境部を中心に開催しました。なお、駅伝の課題としては、高学年になるにつれて参加率が悪くなったため、いかに高学年の児童及び生徒に興味を持たせ、参加を促すことができるかが課題と感じました。

活動内容

■ 11月19日（火）開催 小中高合同清掃活動





～熟議（合同清掃の振り返り）の様子～



■ 11月30日（土）開催 豊北小中合同親子駅伝大会

